



柵津御堂ワインだより

NETSU MIDO

VOL.06

発行/2021年2月1日 発行者/御堂地域活用構想推進協議会 会長 別府 英宣
(協議会事務局: 東御市6次産業化推進室 電話: 0268-75-2016)

柵津御堂地区の今についてお知らせします

協議会の新たな役員が決まりました

さらなる御堂地域活用構想の推進のため、新たな体制での協議会が発足しました。以下の役員に加えて、各団体から選出された構成員により活動をしていきます。

会長: 別府英宣

副会長: 饗場薫、堀口雅人

監事: 菊地清夫、小林貴文

◎=部会長、○=副部会長

施設検討・運営部会

◎小山英明

○山越淳一

地域産物販売部会

◎宮下清行

○齊藤敏彦

イベント・情報発信部会

◎百瀬善之

○米倉利典

生産者紹介⑥

日常的に飲んでいただけるワインを造りたい

ぼんじゅーる農園醸造所 みのわ やすし 蓑輪 康 さん

●ワイン造りを志したきっかけを教えてください。

大学時代、先輩にすすめられてワインを飲むようになり、次第にワインに魅了されるようになりました。大学卒業後は、医師として勤務していましたが、欧州のワイン銘醸地を旅していくうちに、クリエイティブなことをしたいと思うようになり、ワイン造りを志しました。

●栽培の場所として東御市を選んだ理由は何でしょうか。

ヴィラデストワイナリーを始めとして、多くのワイナリーがすでに東御市にワイン用ブドウを植えていた影響が大きいです。また、ヴィラデストのオーナーの玉村さんの著書を読んでいた影響もあります。

●御堂を活用して、どのようなワイン用ブドウづくりを目指していますか？

御堂では標高の異なる2箇所で栽培をしていますので、この標高の違いを表現したワインを造りたいと思っています。また、御堂の圃場の形態を活かせば栽培コストを下げられるので、低価格帯のワインもできるのではないかと考えています。

●御堂の将来像をどのように描かれていますか？

約28haの広大な場所に、複数の生産者が色々な哲学で栽培や醸造をしていくので、バラエティに富んだワインが楽しめる場になればと思っています。フランスの銘醸地である「クロ・ド・ヴージュ」のような感じをイメージしています。

●地元の皆さんへのメッセージをお願いします。

農業は一人ではできません。地元の方々の協力があって、御堂の団地が完成しました。その恩返しのためにも、地元の皆さんに愛されるワインを作りたいと思っています。また、地元の皆さんに日常的に飲んでいただくことで、この地がさらにワイン産地として発展し、育っていくのではないかと考えています。



ぼんじゅーる農園醸造所
住所: 東御市柵津240-3
電話: 0268-63-4144

聞き手: 米田直人 (東御市地域おこし協力隊・ワイン&ピアミュージアムコンシェルジュ)